

全国高校総体・陸上競技 記録：3分40秒28 県新記録

## 女子4×400mリレーで全国優勝

全国高校総体で女子4×400mリレーで優勝することができました。私にとってこれまでの道のりは長く、たくさんチームに迷惑をかけてしまいましたが、そのたびに仲間や家族、友達、先生方に支えられ、走りきることができました。最後の全国総体で個人種目に出場することはできませんでしたが、仲間と共に掴んだ全国優勝はこれからの生活につながる大きな糧となりました。地区大会から継いでくれたメンバーや応援してくれた方々に感謝の気持ちを忘れずに、秋の大会も頑張っていきたいです。



磐田竜洋中学校出身  
35HR 名倉 彩夏

写真提供 静岡新聞社

全国高校ギター・マンドリンフェスティバル

## 優秀賞、スペイン大使賞を受賞

私たちマンドリン部は、7月に大阪で行われた「全国高校ギター・マンドリンフェスティバル」に参加しました。大会のレベルが年々上がってきている中で、スペイン大使賞を頂けたことをとても嬉しく思います。70人の部員全員が同じ気持ちになって全国大会に向けて1つの曲を究めていた時間は、一人ひとりが輝いていた素晴らしい時間でした。

3年生はこれで引退ですが、後輩たちには全国大会の舞台上で演奏した経験と他校の演奏から得たものを糧に、更にレベルアップして欲しいと思います。今後とも応援よろしくお願いします。



春野中学校出身  
30HR 松本 幸子

## 全国大会にて活躍した部活動より

### 陸上競技部

36HR 増田 陽介 北浜東部中学校出身

今回は初のインターハイだったので、インターハイに入る前の準備にとても気を遣いました。特に、体調管理、怪我の予防です。そのおかげで、本番では体調もよく、大きな怪我もせず良い状態で競技に臨めたと思っています。結果としては、自分の目標としていた決勝進出には届きませんでした。しかし自分の足りないところも分かり、貴重な経験をさせてもらった大会でした。

35HR 佐藤 真緒 天竜中学校出身

私は3年間連続でインターハイに出場することができました。今年は絶対に入賞して、チームの総合優勝に貢献したいという気持ちで臨んだインターハイでしたが、想像以上の緊張で予選落ちでした。どんな時でも平常心を保つということが何よりも大切で難しいということを感じました。夏の悔しさを必ず残りの大会ではらしたいと思います。

35HR 江間 美佑 篠原中学校出身

私の高校テニスを締めくくる最後の試合は、全国高等学校総合体育大会でした。シングルス、ダブルスと26年ぶりの出場となった団体戦。結果はシングルス、団体は2R敗退。ダブルスはベスト16。この2年半、嬉しかったことより辛かったことのほうが多かったかもしれません。でも試合の後、頭には楽しかった思い出とたくさんの人への感謝の気持ちでいっぱいでした。本当にたくさんの応援ありがとうございました。

25HR 太田 悠介 浜松日体中学校出身

私たち男子テニス部は8月9日～16日に行われた全国高等学校総合体育大会テニス競技に5名の部員が出場しました。シングルスでは吉見恒輝が一回戦敗退、ダブルスでは太田悠介・石山喬悠ペアがベスト16、団体戦ではベスト16という結果でした。応援ありがとうございました。来年のインターハイでは日本一に輝けるように日々精進したいと思います。応援よろしくをお願いします。



全国高等学校総合体育大会テニス競技 男子テニス部

36HR 津ヶ谷 健太 庄内中学校出身

今年のインターハイにかける思いは、去年とはまったく違いました。最後のインターハイでもあったので去年とは比べものにならないくらい緊張していました。目標であった4×100mRでの決勝進出はなりませんでしたが、今年も全国の舞台上で走れたことは本当に嬉しかったです。また全国で走ったメンバーだけでなく、地区大会などでバトンを継いでくれたメンバーにも感謝しています。

35HR 名倉 彩夏 磐田竜洋中学校出身

今年のインターハイは今までのものとはまったく違う経験をしました。3年生という追われる立場で、周りからの期待やプレッシャーは大きく、大会前は不安でしたが、仲間や家族、先生方に支えられ最高の結果を残すことができました。目標にしていた総合優勝は達成できませんでしたが、それ以上に良い経験をすることができました。

21HR 渥美 友紀 観塚中学校出身

私たち放送部は、第59回NHK全国高校放送コンテストのラジオドキュメント部門、第36回全国高等学校総合文化祭のアナウンス部門とビデオメッセージ部門に出場しました。決勝に進むことはできませんでしたが、全国の学校の作品等を見ることができて、とても良い経験になりました。来年は全員で力を合わせて良い結果を残せるように頑張りたいと思います。

31HR 那須田 奏依 富塚中学校出身

全国という大舞台でしたが、今までの稽古でやってきたことを信じて、良い緊張感の中で試合に臨みました。演技では予選リーグを勝ち抜き、目標としていた決勝トーナメントに進出することができました。団体戦は残念ながら予選リーグ敗退でしたが、全国トップレベルの強豪を相手に臆することなく、最後まで私達らしく戦うことができました。これも皆さんの応援のおかげです。ありがとうございました。



放送部

## 萌葱祭

(生徒会担当 河田 琴栄)

今年の萌葱祭のテーマは「蘭」、秋の七草にも数えられた藤袴の異名でありました。薄紫の小さな花が無数に集まり、素朴な香りを漂わせてひとつの花のように咲くその花は、部活動の発表や展示、HR展と、各会場で個性を开花させた市立生と重なります。

本年度も3000人を超えるお客様に御来校いただき、大盛況のうちに幕を閉じることができました。心より御礼申し上げます。一般のお客様の投票にて決定する大衆賞には、部活動展の部では3年連続で書道部が、HR展の部では3年生を僅差で制して21HRが栄冠を手に入れました。

限られた時間の中で試行錯誤を繰り返しながら、企画、運営、練習、製作といった過程を仲間と共に体験する中で、生徒たちはたくましい成長を見せてくれます。教科の学習だけでは得られないことを学ぶ貴重な機会が、市立高校の行事にはふんだんにあります。



## 合唱大会

(文化委員会担当 藤原 真紀)

例年5月に行われていた合唱大会が、今年度から7月に移りました。早朝、昼休み、放課後等を利用して、暑さの中、汗を流しながら、一生懸命に練習に取り組んでいる姿が見られました。選曲や練習期間にゆとりがあったため、どのクラスも、完成度の高い素晴らしい合唱を披露してくれました。特に、3年生は難易度の高い曲に挑戦し、最後の合唱大会への意気込みが感じられました。1年生の部では19HR、2年生の部では20HR、3年生の部では31HRが優勝に輝きました。合唱大会の企画、運営に尽力してくれた文化委員や生徒会役員のおかげで、無事に終えることができました。



## 体育大会

(体育委員会担当)

体育大会1週間前、天気予報を見ると台風接近…またか!こんな話が学校で流れました。例年天候には振り回される市立体育大会。今年度も予行は雨天で体育館にて実施。当日も雨天で順延し、翌日といった変更を余儀なくされました。しかし、そこは市立高校の生徒たち。多少の日程変更や準備不足も、互いに協力しあって滞りなく行動ができ、予定通り、最後の種目まで戦い抜くことができました。

恒例の応援合戦では、10集団がそれぞれの個性を生かしたパフォーマンスを披露し、会場を大きく沸かせました。閉会式では、校歌を全校生徒が肩を組み、大きく揺れながら楽しそうに歌声を響かせていました。教頭先生からの「市立生は勉強も・部活も・行事も全力投球だ」との呼びかけに…「そうだー」と大きく答える生徒、皆が一丸となることができた体育大会だったと思います。

